

福井新聞 平成 24 年 6 月 15 日

双 申 (株)

算数楽しむアプリ

iPhone用ゲーム開発

「コイン集め 子どもに意欲」

同社は幼児期から自分で考える力を養おうと、昨年も財務計算ができるボードゲームを開発している。アプリはボードゲームの計算法を応用し、「ファンタジーな世界で、楽しく算数を学べる」を話す。

コンセプトにつくった。「あみかこ」と呼ぶ四角の枠に1〜9の数字を入れていく方式でゲームを進める。ゲームは3種類。「すうじ」は出てきたキャラクターの数を当てる。「たす」「かける」は二つの数字を足したりかけたりした答えを当てるか、表示された答えになるような「?」の欄の数を当てるゲーム。「たす」「かける」で正解するとコインがもらえる。集めたコインで新しいキャラクターなどを増やせることで、子どもの目標意識や意欲を高められるという。

「iTunes App Store」から無料でダウンロードできる。コインを買い足した場合などは有料となるが、無料で遊び続けることも可能。嶋崎万太郎専務は「子どもが直感的に算数を楽しめるゲーム。親子のコミュニケーションに役立ててほしい」と話す。

経営者向けの能力開発プログラムなどを手がける双申(南越前町嶋崎喜一社長)はこのほど、足し算や掛け算を題材にした子ども向けのiPhone用アプリ「楽しい数あみかこ算」の日本語版、英語版を企画開発した。5月24日のダウンロード開始から2週間で、米国や中国、ロシアなど国内外で1万ダウンロードを突破した。(土生仁巨)

能力プログラムの双申 (南越前町)



双申が開発した子ども向け計算アプリ「楽しい数あみかこ算」の画面